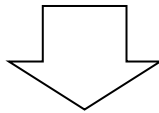


中核市市長会・全国特例市市長会との連携について

■これまでの経緯

多様な大都市制度の創設について議論する中で、実現するためには指定都市以外の自治体首長の理解を得ていく必要性が指摘された。

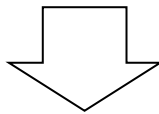


平成24年2月に全国市長会、指定都市市長会、中核市市長会、全国特例市市長会の会長等が一堂に会し、大都市制度や基礎自治体のあり方について意見交換を行い、基礎自治体の強化という方向で協力していくことを確認。

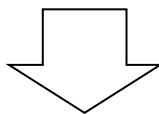
平成24年度より都市間連携シンポジウムなど3市長会連携事業を継続実施している。

■新規取組について

3市長会連携が始まり平成26年度で3年が経過することから、連携をより深化させ、新たな機軸を打ち出していくべき時期を迎えている。



今後、3市長会に共通する課題に対して、国に対して共同で働きかけをするなど、連携の取組を強化するため、再度3市長会で意思確認をするとともに、対外的に連携をアピールする必要がある。



新規取組（案）

指定都市市長会、中核市市長会、全国特例市市長会の各会長名で、連携強化に関する文書の取り交わしを行う。